



問 福祉施設の今後の課題は

答 アクアスを含めた施設の有効活用を検討

問 文教委員会の代表質問を行う。健康福祉棟が手狭では。

福祉課長 特に参加者が多く、かつ増加傾向の高齢者生きたい活動支援事業（もみじ倶楽部）の参加者等の動向を踏まえ、大溝・大莞の各コミュニティセンターで実施する方向で検討している。

問 障害者の就業支援は。

福祉課長 平成23年度に設立した障害者地域自立支援協議会で、その方策を今後検討する。

問 社会福祉協議会の人材不足の原因は。

福祉課長 雇用条件のミスマッチによりスタッフが集まっていない。

問 社協の基金は課題解決のため有効活用できないか。

福祉課長 社会福祉事業積立基金は、人件費、備品購入費、施設整備費等に活用することができ

る。

問 アクアスの設備は、過去5年間で修繕費を8,000万円強支出、向こう15年間で現在の機能を維持するために5億6,000万円強が必要。さらに15年〜25年周期で施設や機械設備の保全が必要で、いつまでこの施設を活用するのか。

また、今後施設を維持するにはどのくらいの費用が必要か。

町長 県建設技術情報センターの報告書によると、建物の耐用年数は一応65年と設定され、屋上の防水保全施設など保全項目によってばらつきはあるが、15年〜25年周期で更新が必要で、平成24年〜74年までの概算工費は、18億円程度必要。庁内の作業チームで、いつまで活用するか検討するが、具体的な方向性は出ていない。

この施設を現状のまま多額の費用をかけ維持するのは適切ではなく、見直す必要がある。

問 委員会で問題視している点と提案。

① 毎年何千万円の改修修繕費用が必要で、あと15年ほど維持するには財政的に厳しいか。

② 温泉量が、現状を維持するには困難な状況。もう一本温泉を掘る必要はないか。

③ 温泉を一本追加するから、西側に機械棟を建設し、地下の機械室を地上へ移転すると同時に施設の老朽化も見据えて、町民の健康増進を目的とした施設を建設しては。

④ 現在の機械室は建物の地下に存在し、メンテナンスを行うにも大規模な工事が必要となる。地上に出したほうが便利では。

町長 アクアスの中で、課題を抱えている一番大きなものが温泉施設の部分で、それを除けば、もみじを始めとする高齢者の皆さんの福祉や健康増進、あるいは災害の一時避難場所などの活用方法もある。一定の時期に、もう少しコンパクトで維持管理費も少ない施設を具体的に検討する必要がある。い

れにしても多額の費用を要するため、意見等も十分に踏まえ皆さん方と議論を交わし、また財政計画にも盛り込み、将来に禍根を残さないよう取り組んでいく。

まとめ 無駄な費用はつき返さない、必要最小限の改修・修繕にとどめる、早期にとりかからなければならぬことは早急

に実行する、多額の費用がかかっているものは再利用する、20年後をめどに中長期的な計画を立て実現していく。

文教委員会の願いは、『町の中心にあらゆる世代が集まれる子育て・健康・福祉ゾーンを計画してください。』



大木町の温泉施設「アクアス」